



# 金山町 議会だより

第223号

令和5年10月26日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎0241-54-5341

〔9月定例会 会期9月8日～13日〕

- ・令和4年度決算認定、決算審議… 2～4
- ・議案等審議結果一覧・人事…………… 5
- ・一般質問 7人が登壇…………… 6～12
- ・議会議員の4年間を振り返る…… 13～15

JR只見線・大志集落俯瞰  
(撮影箇所: 川口 尻吹峠)

## 令和4年度一般会計決算

歳入 **36億6,373万円**  
歳出 **34億4,921万円** を認定

## 9月定例会

9月定例会は9月8日から13日にかけて開催され、令和4年度決算認定や一般会計補正予算、条例改正、人事など11議案、報告2件、議員提出議案1件が提案され、原案の通り認定・可決・同意されました。  
一般質問は、7人の議員により行われました。

令和4年度決算認定採決



## 令和4年度一般会計及び特別会計の決算

| 会 計 名       |                 | 歳 入        | 歳 出        |
|-------------|-----------------|------------|------------|
| 一 般 会 計     |                 | 36億6,373万円 | 34億4,921万円 |
| 特 別 会 計     | 国民健康保険（事業勘定）    | 2億5,688万円  | 2億3,982万円  |
|             | 国民健康保険（施設勘定）    | 1億6,367万円  | 1億6,367万円  |
|             | 簡 易 水 道 事 業     | 1億9,915万円  | 1億6,891万円  |
|             | 農 業 集 落 排 水 事 業 | 401万円      | 328万円      |
|             | 介 護 保 険         | 6億1,892万円  | 5億9,512万円  |
|             | 特定地域生活排水処理事業    | 1億2,672万円  | 1億2,212万円  |
|             | 後 期 高 齢 者 医 療   | 4,699万円    | 4,680万円    |
|             | 特定環境保全公共下水道事業   | 3,298万円    | 2,954万円    |
| 小 計         |                 | 14億4,932万円 | 13億6,926万円 |
| 一般・特別会計決算合計 |                 | 51億1,305万円 | 48億1,847万円 |

### 財政健全化比率

（町の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためもの）

## 財政は健全と判断（比率が健全化判断基準内）

| 指 標 名    | 比 率  | 健 全 化<br>判断基準 | 指 標 の 説 明                                                    |
|----------|------|---------------|--------------------------------------------------------------|
| 実質赤字比率   | —    | 15.0%         | 一般会計の赤字の大きさを町の財政規模に対する割合で示したものです。黒字決算であり数値がありません。            |
| 連結実質赤字比率 | —    | 20.0%         | 一般会計と特別会計の全会計の赤字の大きさを財政規模に対する割合で表したものです。黒字決算であり数値がありません。     |
| 実質公債費比率  | 4.5% | 25.0%         | 借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを町の財政規模に対する割合で表したものです。町は良好な状態であります。     |
| 将来負担比率   | —    | 350.0%        | 借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、町の財政規模に対する割合で表したものです。負担が無いため「—」で表示。 |

# 決算審議

## 一般会計・歳入

### 不納欠損額

**問** 町税(固定資産税現年度)17万2千円。きちんとした法的な処理か。  
**答** 住民課長 破産手続き完了による会社倒産法人1件、家庭裁判所で確認した相続放棄の個人2件分です。地方税法の滞納処分手続きにより不納欠損処理を行っています。

### 収入未済額

**問** 町税(個人町民税、固定資産税)現年度分が大幅増。増加の経緯は。  
**答** 住民課長 個人町民税21万円で16万4千円の増加。固定資産税は120万3千円で103万6千円の増加です。前年度新型コロナウイルス感染症対策で固定資産税の減免があり、そちらの事業者の未納の発生によるものです。  
**問** 収入未済額は発生した段階で、もうちょっと強力な債権の保全措置が

にどうするか協議検討いたします。

## 一般会計・歳出

### 大芦線バス運行負担金について

**問** 負担金754万6千円。算定基準は。  
**答** 総務課長 会津バスによる川口大芦間の運行負担金です。年間の計上欠損額2,134万7千円。金山町、昭和村で距離割、人口割で負担割合を決め金山分35・35%の負担額となっています。

### 上横田共同住宅使用料

**問** 使用料4万9千円の内訳は。  
**答** 保健福祉課長 夏季の移住体験等使用で、利用者では延べ20人です。

**問** 冬期間の一人暮らし等高齢者利用の共同住宅の利用が目的。決算審査意見で監査委員意見として「目的を変更し柔軟で有効的な活用を図るべき」とありました。現時点でどのようにに活用しましたか。  
**答** 保健福祉課長 現時点で令和5年度移住体験等で延べ64名の利用があります。これから、監査委員の意見を基に具体的

**問** 毎年多額の負担金が発生している。負担額と町民の利便性についてどのように考えますか。  
**答** 総務課長 国道400号を走る重要な生活路線であり今後も継続して運行をして頂きたい。会津バスからの報告では金山町分3,163人、昭和村分5,784人の利用がありました。

### 移住支援センターの業務について

**問** 委託料280万7千円。業務内容は。  
**答** 企画課長 移住関係で電話での相談18件、来所での相談39件、移住に繋がった件数3件、移住後の相談24件、町内移住者交流会4回、町外での移住相談会3回です。  
**奥会津金山大自然への補助金について**  
**問** 補助金450万円。地方自治法上、補助金は公益性がある場合に限り交付することができるとされている。法人への公益性とは。  
**答** 町長 金山の農業を持続していく上で中心を担っていく組織であり、金山の農業を守っていく上で必要であり、支援は継続していきます。  
**有害鳥獣捕獲隊員について**  
**問** 報酬51万9千円。隊員の年齢構成は。  
**答** 農林課長 80歳代1名、70歳代2名、50・40・30歳代各1名計6名です。  
**問** 隊員数確保について。

**答** 農林課長 町内に狩猟免許取得者はいるが、有害捕獲となれば人数が減ってしまう。新たな人材の育成が必要です。

## 国民健康保険特別会計

### 特定健康診査等事業

**問** 特定健康診査率及びその後の保健指導の実施率は。  
**答** 保健福祉課長 受診率は約57%です。保健指導率は約29%です。

**問** 前年より受診率で5%、保健指導率で10%ほど下がった要因は。  
**答** 保健福祉課長 40歳から74歳までの、特に生活習慣病が増える年代、この予防のためメタボリックシンドローム等に着眼した健診を行うものですが、年により変動があります。医療費の減少にもつながるので広報、保健指導等により受診率を上げていくよう努めています。

## 主な基金の残高

(令和4年度末現在)

- 財政調整基金 13億6,289万円
- 公共施設整備基金 7億4,214万円
- 減債基金 3億2,290万円
- 少子化対策推進基金 3億1,304万円
- 災害対策基金 1億6,148万円

## 主な投資的事業

- 定住促進住宅建設工事(上横田地区) 8,322万円
- 町道西部湯倉線落石防護対策事業 4,249万円
- 農産物加工所整備事業(横田地区) 3,822万円
- 町民体育館屋根塗装工事(中川地区) 2,090万円

# 令和4年度決算審査意見

8月8日から10日まで3日間行われた、決算審査における監査委員の意見をお知らせいたします。

金山町代表監査委員 長谷川 一夫  
金山町監査委員 横田 正敏



意見を述べる長谷川代表監査委員  
(右奥：五ノ井議長)

① 町の主要財源である、町税及び使用料等の徴収に努力されていることを評価いたします。今後とも「福島県会津地域地方税滞納整理機構」の機能を活用し徴収に努力していただきたい。また、歳入全体の中では、地方交付税が50%前後を毎年占めており、交付税に依存している財政状況であります。今後、国の政策により交付額は不確定になります。

② 補助金交付においてその事業の目的に沿って、補助金が最大限活かされるよう適正な執行と適切な指導をしてください。また、個人、団体法人等への補助率、概算払いについて、一律性を欠くものが見受けられます。検討していただきたい。

③ 特別会計への一般会計からの繰出金が毎年多額になっています。その中で、運営費繰入額も毎年増加している会計があり、内容を精査し繰入額の抑制に努めていただきたい。

④ 利用実績の少ない施設(建物、土地)等の利活用



決算審査開始式  
(左手奥：長谷川代表監査委員 左手前：横田監査委員)  
(右手奥：押部町長)

⑤ 町民に基礎的行政サービスを提供する「町職員」は地域住民の暮らしに密着した業務を行っており、高齢化の著しい本町においては頼られている存在であります。近年の事務量増加の中で「町職員」の健康管理が心配です。職員一人ひとりが健康に留意しながら「住民福祉の向上」のため一層の行政運営に努めていただきたい。

⑥ 議案成立後、小学校統合準備委員会を立ち上げスムーズな統合に向けた準備を進めるとあるが、想定している構成メンバー、準備会で話し合う内容をお聞かせください。

⑦ 議案成立後、小学校統合準備委員会を立ち上げスムーズな統合に向けた準備を進めるとあるが、想定している構成メンバー、準備会で話し合う内容をお聞かせください。

⑧ 将来的に小中一貫教育を視野に入れながら、教育環境の展開を図っていただきたい。

## 議案審議

(5ページに関連記事記載)

### 金山町立小学校及び中学校条例の一部改正について

⑨ 議案成立後、小学校統合準備委員会を立ち上げスムーズな統合に向けた準備を進めるとあるが、想定している構成メンバー、準備会で話し合う内容をお聞かせください。

⑩ 将来的に小中一貫教育を視野に入れながら、教育環境の展開を図っていただきたい。

⑪ 将来的に小中一貫教育を視野に入れながら、教育環境の展開を図っていただきたい。

⑫ 将来的に小中一貫教育を視野に入れながら、教育環境の展開を図っていただきたい。

⑬ 将来的に小中一貫教育を視野に入れながら、教育環境の展開を図っていただきたい。

⑭ 将来的に小中一貫教育を視野に入れながら、教育環境の展開を図っていただきたい。

⑮ 将来的に小中一貫教育を視野に入れながら、教育環境の展開を図っていただきたい。

⑯ 将来的に小中一貫教育を視野に入れながら、教育環境の展開を図っていただきたい。

## ■議案等審議結果一覧(一部を掲載しました。全議案全員賛成でした。)

※議長は、採決に加わりません(賛否が同数の場合には議長が採決します)

※賛成「○」 反対「×」

| 件 名                                                                                                                 | 議決<br>結果                                                                          | 安藤<br>雅朗                  | 坂内<br>譲 | 加藤<br>夕子 | 栗城<br>康太郎 | 横田<br>正敏 | 奥<br>高伸 | 黒川<br>廣志 | 五ノ井<br>義一     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|---------|----------|-----------|----------|---------|----------|---------------|
| ■第7回定例会（9月定例会） 令和5年9月8日～13日開催                                                                                       |                                                                                   |                           |         |          |           |          |         |          |               |
| 決算の認定について                                                                                                           | 認定                                                                                | ○                         | ○       | ○        | ○         | ○        | 欠席      | ○        | 議長は採決には加わりません |
| 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について<br>（小規模自治体で課題となっている、人口減少に伴う議員のなり手不足などに対応するもので県内の状況を踏まえての見直し。）<br>（令和6年1月1日より施行） | 可決                                                                                | ○                         | ○       | ○        | ○         | ○        | 欠席      | ○        |               |
|                                                                                                                     | (現 在) (改正後)                                                                       |                           |         |          |           |          |         |          |               |
|                                                                                                                     | 議員報酬月額                                                                            |                           |         |          |           |          |         |          |               |
|                                                                                                                     | 議 長 253,000円 → 295,000円<br>副議長 204,000円 → 237,000円<br>議 員 183,000円 → 217,000円 とする |                           |         |          |           |          |         |          |               |
| 金山町立小学校及び中学校条例の一部改正について<br>（金山小学校と横田小学校を令和7年度に金山小学校に統合。）                                                            | 可決                                                                                | ○                         | ○       | ○        | ○         | ○        | 欠席      | ○        |               |
| 令和5年度金山町一般会計補正予算(第4号)                                                                                               | 可決                                                                                | ○                         | ○       | ○        | ○         | ○        | 欠席      | ○        |               |
| 金山町教育委員会委員の任命に関する同意について                                                                                             | 同意                                                                                | 無記名投票により採決<br>（賛成6票・反対0票） |         |          |           |          |         |          |               |
| 金山町人権擁護委員の候補者の推薦について                                                                                                | 同意                                                                                | ○                         | ○       | ○        | ○         | ○        | 欠席      | ○        |               |

### ■人 事

◆金山町教育委員会委員の任命に同意しました。

渡部 佳恵

(大塩・69歳)

任期は10月1日から4年間。

◆人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

星 俊子

(板下・74歳)

滝沢 正明

(上横田・70歳)

目黒 隆明

(本名・64歳)

任期は令和6年1月1日から3年間。

### ■意見書の提出

議員提出議案として提案し、可決されました。

●地方財政の充実・強化を求める意見書



## 議会会議録・一般質問動画(録画) 町公式ホームページ掲載のお知らせ

金山町議会では、「開かれた議会」「身近な議会」を目指した議会改革の中で、議会会議録の町公式ホームページへ掲載、本会議での議員の一般質問の動画配信(録画)をはじめました。是非、ご覧ください。



↑会議録はこちら



↑動画配信はこちら

### 議会会議録について

議会だよりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。ホームページには全文記載されていますので是非、ご覧ください。

(金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会会議録](#)

[令和5年議会会議録](#)

### 一般質問の動画配信(録画)について

各議員(質問者)ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は50分です。本会議での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。

(金山町ホームページ画面)

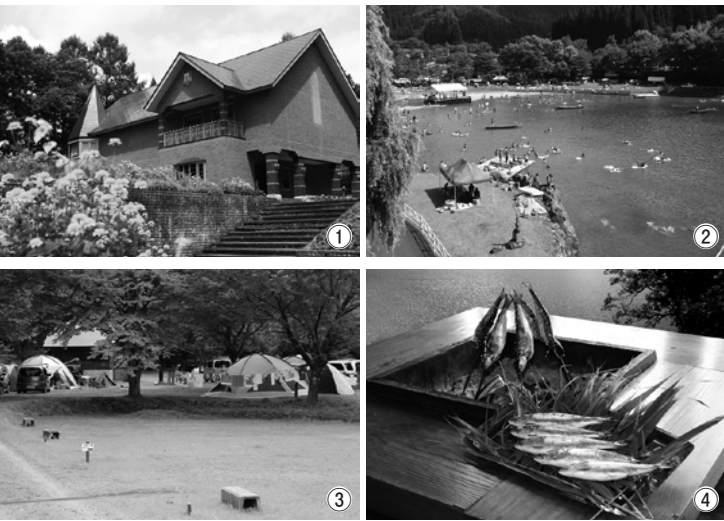
[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会動画配信](#)

[令和5年一般質問](#)



沼沢湖周辺にある観光資源

- ①妖精美術館      ②沼沢湖水まつり  
③オートキャンプ場      ④町の特産品ヒメマス

## 坂内議員の 一般質問



# 金山町の観光について

## 沼沢湖周辺の魅力向上を図る ―町長

問① 只見線のこれから  
の振興策について。

答 町長 昨年10月1日の全線運転再開以降、多くの観光客が利用されており、只見線は重要な観光目的になっていると考えています。

県、沿線自治体、関係団体などから構成される只見線利活用推進協議会では、今年4月に第2期只見線利活用計画を策定し、10の重点プロジェクト

トが示されています。

町も、景観整備のための支障木伐採やビューポイント整備、二次交通対策として観光タクシー、レンタサイクルやレンタカー事業への取り組み、「只見線のりのり倶楽部」

での住民企画ツアーへの支援や各種啓発活動、駅や線路沿いの美化活動への支援、特産品などの商品開発、只見線の利活用を目的としたふるさと納税などの事業に取り組んでいるところです。

今後具体的には、金山町で降車してもらうため、金山独自のイベントの開催、金山を中心としたツアープランの実施、町内の観光資源や歴史文化施設などの潜在的魅力を向上させるための事業などに

取り組み、只見線の振興策に繋げて行きたいと考えています。

問② 金山町が全国に誇

れる自慢の温泉について。

答 町長 当町には7つの温泉があり、それぞれが魅力的な温泉です。PRについては、温泉ガイドや観光パンフレット、町ホームページにも、観光情報サイトを介して

います。泉施設を紹介しています。いずれも、写真や文字情報のみで魅力を十分に伝えきれないと思います。「せせらぎ荘」のオーブン当初は、炭酸の泡(写真左)が手や足についている様子がテレビ等で放送され、視聴者へのインパクトも大きかったと記憶しています。

金山町の温泉は、全国に誇れる温泉と自負しております。先日、(株)バスクリンが日本の名湯シリーズ新商品として、「奥会津金山」を発売しました。金山の温泉の中でも炭酸温泉は、貴重な温泉でありますのでこの機を逃がさず、温泉を有効に活用し、金山の宣伝、誘客に努めて行きたいと考えています。

問③ 海外から訪れる観光客について。

答 町長 多言語による情報提供を進めています。ホームページでは、5カ国語表示を行っており、観光看板の町の情報については、ホームページへ誘導するなど、より当町の魅力を発信できるよう

取り組んでいます。また、外国人観光客は、雪に関心を寄せる方が多いと言われています。スキー場を活用した雪遊び等を体験できる旅行商品の造成についても研究して参ります。

問④ 二期目に成し遂げたい観光事業は・・・

答 町長 これまで整備してきた観光関連各施設の魅力アップに取り組んで行きたいと考えています。具体的には、沼沢湖周辺施設があげられます。沼沢湖を中心とした周辺施設は、町観光にとって重要な資源です。今後、キャンプ場に限定せず周辺一帯のリニューアルを図ることで、観光資源として魅力向上に努めていきたい。

併せて、令和3年に越後三山只見国定公園に編入された、滝沢地区の甌穴群の魅力向上、大塩炭酸泉関係施設の充実などにも取り組んで参ります。



町温泉保養施設「せせらぎ荘」(玉梨地内)  
県外からの利用者が増えています



## 栗城康太郎議員の 一般質問

# これからの観光振興と地域振興について

## 協議の場を組織する ― 町長

金山町の人口減少・少

子高齢化が進行するなか、

地域の活力を維持し発展

させるためには、国内外

からの交流人口を拡大さ

せ、町内での旅行消費を

増大させる必要があるこ

とは言うまでもありませ

ん。

問① 交流人口拡大の受

け入れ体制充実について。

宿泊施設不足の解消無

しには当町の観光振興は

成しえないと考えるが町

長の見解は。

答 町長 交流人口を拡

大し、旅行消費を拡大す

ることが、観光振興と地

域振興に繋がるものと考

えています。そのために、

宿泊施設の充実がカギに

なることは間違いありま

せん。既存の宿泊施設の

増改築や新たに宿泊業を

始める方への支援も必要

であり、現在、どのよう

な支援にするか原案づく

りに取り組んでいるとこ

ろです。

当町の「らしさ」・「な

らでは」をどのように捉

え、どのように発展させ

ていこうとしているのか。

答 町長 地域の持つ

「らしさ」・「ならでは」と

は、地域や場所が持つ独

自の文化、風景、歴史、

伝統、特産品、イベント

などを強調し、他の地域

とは異なる魅力を表現す

るものです。

金山を訪れたら、「赤カ

ボチャ」や「ヒメマス」が

食べられるとか、「炭酸温

泉」に入れるとかがあつ

て、初めて「金山らしさ・

ならでは」に繋がるもの

であると思います。併せ

て、そこに、町民(生産者・

関係者)が関わることが

さらに魅力向上に繋がる

でしょう。

また、只見線や只見川、

川霧などは、近隣町村に

も同じような風景はあり

ますが、その場所に立つ

たときの印象は、それぞ

れに違いがあると思われ

ます。当町の魅力を広く

PRすることが「金山ら

しさ・ならでは」に繋が

るものと考えています。

いずれにしても、地域

の特色・独自性を最大限

に活用し、観光客にその

魅力を伝えることで、観

光においての競争力を高

めることができると思え

ます。課題はありますが、

金山ならではの部分を観

光に活かせるような仕組

みづくりをして行きたい

と思います。

業協同組合と十分協議し

たいと考えています。

問 7年前に、非常に高

濃度、場合によっては日

本一高濃度の炭酸を含ん

だ温泉が湧出する可能性

があるかもと、大塩の炭

酸温泉を調査し、試掘を

しようとした計画があり

ましたが、当時、議会で

否決されました。日本一

あるいはそれに匹敵する

炭酸温泉が湧出するので

あれば、金山ならではの

商品になると思います。

試掘のお考えはお持ちで

すか。

答 町長 横田地域の振

興を図る意味でも、炭酸

温泉の試掘に具体的計画

はありませんが、もう一

度挑戦してみたい気持ち

はあります。また、宿泊

施設関係と併せ、炭酸温

泉の利用、活用等検討、

協議、相談の場を年度内

に組織し、前に進んでい

きたいと考えてます。

問② 人を呼び寄せる仕  
組みづくりについて。

答 町長 そこまでの研  
究・検討はしていません。

問 絶対的な宿泊施設不  
足のなか現在、合同会社  
という民間の事業者が宿  
泊事業を始めようとして  
います。また前回の定例  
会質問の直営または公設  
民営による宿泊施設の整  
備に関して研究・検討は  
されたか。

答 町長 ヒメマスの量  
がなかなか確保できない  
部分については、沼沢漁



自給自足型農業が実践されています(大志地内)  
休耕地になれば集落の景観が劇的に変わります

## 横田正敏議員の 一般質問



# 命を危険にさらす猛暑から町民を守る対策を

## 多方面から考えていく―町長

**問①** 命を危険にさらす猛暑から町民を守るため、様々な分野で取り組みを進めることが大事と考えるがどうか伺う。

**答 町長** 金山町でも、最高気温が30度を超えた日が、7月22日から9月3日まで連続44日、8月17日には最高気温35度の猛暑日を記録しました。町では、防災無線による呼びかけ、広報お知らせ版では、6月から8月

まで熱中症に対する注意喚起を行っており、学校や保育所でも、熱中症対策には十分注意して活動を行って参りました。

この猛暑は来年以降も続くことと思われます。

引き続きの注意喚起、コロナ禍により中断していたクールシェア(公民館などの涼しい場所を皆で共有する取り組み)の再

開、エアコン設置への支援、イベント等の開催時期や暑さ対策を十分に考慮した実施方法など、多方面から考えていくことも大切です。

**問②** 災害が起きないことを祈るばかりですが、各地区の避難場所や避難ルートは万全かどうか伺う。

**答 町長** 避難場所は、各地区の集会所を中心に23箇所を指定。一時的な避難場所でも基本的な食料や水の備えはありません。

避難所は、災害による収容保護を目的として、物資の運搬・集積・炊事・宿泊などの利便性を考慮し、学校・公民館・公共建築物など17箇所を指定。開設時には、職員を派遣

し対応することになります。

避難ルートについては、気象情報に応じた速やかな避難情報の発令が、より安全な避難行動に繋がるものと考えております。

災害に対する備えについては、これで万全という意識を持つことなく、常に、起きてはならない最悪の事態を避けるための取り組みを継続して実施して参ります。

# 農業の維持について

## 支援の在り方を協議―町長

**問①** 町の特産品である赤力ボチャ生産者の後継者育成に町はどのように考えているか。

**答 町長** 昨年度、豊かなむらづくり全国表彰において農林水産大臣賞を受賞し、さらに上を目指して合格率を高めるための栽培指導会などに力を入れております。8月末の合格率が82%と前年度

を大きく上回っております。将来に渡る安定した生産量の確保には、新たな後継者を育成することが課題となりますので、生産者協議会と情報を共有しながら、新たな生産者の確保に向けて対応して参ります。

**問②** 自分たちが食べる分だけの米や野菜を育て

る「自給自足型農業」への支援は考えていないか。

**答 町長** 自給自足型農業者への支援、特に直接的な支援には課題が多く、現在、全町民を対象に実施している電気柵の補助、土づくりの営農指導などの支援を続け、地域の中で人と人が支え合いながら、農業を継続できる環境づくりに努めて参り

ます。集落の維持、集落周辺の景観形成でも、休耕地が増えて集落が衰退していくことは、町にとっても重大な問題です。今後、町農業委員会や農業関係者と支援の在り方について協議を重ねて行きたいと考えています。

## 安藤雅朗議員の 一般質問



# 観光施策の展開について

## 文化資源を活かしていくー町長

問① 文化歴史の活用について。

玉縄城跡、中丸城跡、鯉立の磨崖仏、霧幻峡の渡し、只見線など歴史的、文化的に貴重な資源が存在している。観光産業の武器とし、文化観光の振興を図るべきと考えるが。

答 町長 町には歴史的・文化的資源が数多く存在しています。これらの資源の魅力を多くの

化の保存・継承の理解につながり、また、新たな文化の創造・発展につながるものです。これを観光の振興につなげ、さらに人の往来や購買・宿泊等の消費活動の拡大などを通じて地域の活性化を実現することで、町の持続的な発展のための好循環が期待されるところです。

上の経過し施設も老朽化しています。沼沢湖を中心とした周辺施設は、町観光にとって重要なものと考えています。

より良い観光地にするため、施設のリニューアルが必要と考えています。また、集落の景観形成事業の継続や妖精美術館道路脇の花木等の取り組みについても、引き続き維持管理し耕作放棄地に戻らないよう取り組んで参ります。

問③ 交流人口、関係人口を増やし持続可能な町をつくるために。

日本全体で人口が減少する時代において、定住人口のみに着目すべきではないと考えるが。

答 町長 関係人口とは、地域外に住みながら地域と多様に関わる人々を指す言葉だと理解しております。町の関係人口を増やす

ためには、まずは町を知ってもらうことが大切です。そのためには、町外での各種PRイベントや情報発信も重要ですが、実際に町に来てもらうための体験、地域に入つての共同作業、2地域居住、お墓や空き家の管理のための帰省、除雪ボランティアなど町との繋がりが重要です。

また、町外の方が、町に実際に訪れる観光は、関係人口を増やす上でも重要な入口だと思います。現在ある観光素材の磨き上げや観光情報の発信、受け入れ体制の整備など観光施策の充実を図りながら、実際に町で宿泊してもらうような取り組みを行うことが重要だと認識しています。

問④ 所管を横断した取り組みや、町観光物産協会との連携は必要不可欠であるが、横断的組織が

継続的に観光振興に関わる施策をどのように実施していくのか。

答 町長 今年度より、農工商連携関係団体打合せ会を実施しています。地域資源を活かした特産品の開発・販路拡大、農工商連携の推進やJR只見線、霧幻峡の渡しなど、観光と連携し協議する場です。関係者は、町農林課、商工観光課、商工会、観光物産協会、道の駅などです。それぞれの課題を出し合って、それを解決することで、地域振興へ結び付けたいと思っています。

町指定重要文化財(彫刻)鯉立の磨崖仏(山入地内)  
観光資源になりうる文化財です  
(写真右下：磨崖仏の一部)





令和7年度に統合予定の横田小学校  
横田大運動会の様子(平成31年)

## 加藤夕子議員の 一般質問



# 公共施設、遊休施設の活用と交流人口拡大について

## 施設の有効活用を進めている――町長

問① 只見線が全線再開通になり、間もなく1年が経とうとしています。

町は只見線を地域振興策に活かしていますか。

答 町長 只見線のり俱楽部で助成した町民の只見線利用者や、ふるさと納税で「JR只見線の維持・利活用事業」を寄付金の使い道として指定された方は、前年度より増えており、これは只見線への関心の高さの表

れであり、町の知名度アップにも繋がっていると考えております。

地域振興については、会津川口駅構内の売店利用者数は、令和4年度が約1万2千人で、前年度より約4千人の増、道の駅の入込客数は、令和4年が13万4千人で前年より4万3千人の増となっています。

コロナ禍の影響から単純に比較は出来ませんが、

全線運転再開後は、これらの数字が伸びていることから、只見線の地域振興への貢献が伺えるところですが、まだ満足できる数字では無いと考えております。

今後も、関係者との連携を取り交流人口拡大と地域振興に繋がる取り組みを進めて参ります。

問② 町の遊休施設と利活用計画は。

答 町長 遊休施設としては、自然教育村会館、あすなる館、農業実習館になります。

自然教育村会館とあすなる館については、金山町地域振興検討会で、遊休観光施設の利活用について検討を行って頂きました。その際、自然教育村会館は、利活用の基本方針、利用方法、運営方法、改修に係る基本設計の概要、概算事業費を取

りまとめたところです。また、あすなる館は、民間活力を最大限に活かすため、地域振興を目的とした民間事業者等への貸与により、施設の有効活用を軸に対応を進めていくところです。農業実習館については、具体的な利活用計画は定めておりません。

## 小学校統廃合後の利活用計画は

## これから策定に入る――町長

問 横田地区から中学校も無くなり小学校も無くなるうとしています。現時点での利活用計画は。

答 町長 現時点で示している利活用計画はできておりません。

これまで小学校PTA、保育所保護者、地域住民を対象に説明会を実施し

てきました。その中で、統合後の空き校舎の利用について考え方を示しております。内容については、以下のとおりです。

(1)町全体のまちづくり構想・施策、総合計画に基づき計画する。

(2)地域の要望を聞き検討することが望ましい。

(3)教育委員会として・施設は耐震基準を満たしており、他の用途への活用が可能

・町の文化財や民具の保管・展示等の文化施設として利用が可能

今定例会で提出している、金山町立小学校及び中学校条例の一部改正す

る条例案の議案可決後はこの考え方に基づいて、利活用計画を策定して参ります。

加藤議員からは、この他に「燃料高騰、物価高に対する町の支援策は」の質問がありました。



J R只見線会津川口駅近くの下町商店街  
空き店舗の利活用が待たれます



## 黒川廣志議員の 一般質問

# 再開通1周年を迎える只見線利活用の現状と今後の取組みについて

## 町民の只見線利用をー町長

2027年度までの只見線利活用計画が第二期検討会議（構成員、福島県、只見線沿線市町村等、オプザーバー国交省、JR東日本）で決定され、半年が経過した。当町での取り組みについて伺う。

**町長** 地域住民や団体が実施する取り組みに対する支援として、本町では、「みんなの只見線応援事業」を実施しています。令和4年度は11団体、本年度は8団体がこの事業で環境整備やPR活動などを実施しています。これらは、住民自らが只見線を活用した前向きな取り組みであり、町も支援し、評価しているところ です。

**町長** 只見線沿線に住んでいる方の生活路線として考えると、只見線を利用する方は、只見線を利用する方、把握していますか。

**町長** 会津川口駅に近い商店街では、様々な事情でご商売をされている店舗がごいます。観光客の利用はもちろんですが、町内の商工業振興や町民の利便性向上の面からも重要な課題であると認識しております。

**町長** 昨年度は、特に降雪期初期に大雪となり、運休が多く発生致しました。私も除雪について十分対応して欲しい旨、機会を捉えて申し上げてきました。今年度も、列車運行に支障が出ない適切な除雪が行われるよう、引き続き要望して参ります。

**町長** 昨年度は、特に降雪期初期に大雪となり、運休が多く発生致しました。私も除雪について十分対応して欲しい旨、機会を捉えて申し上げてきました。今年度も、列車運行に支障が出ない適切な除雪が行われるよう、引き続き要望して参ります。

令和5年10月26日

**町長** 只見線沿線に住んでいる方の生活路線として考えると、只見線を利用する方は、只見線を利用する方、把握していますか。

**町長** 只見線沿線に住んでいる方の生活路線として考えると、只見線を利用する方は、只見線を利用する方、把握していますか。

**町長** 只見線沿線に住んでいる方の生活路線として考えると、只見線を利用する方は、只見線を利用する方、把握していますか。

**町長** 只見線沿線に住んでいる方の生活路線として考えると、只見線を利用する方は、只見線を利用する方、把握していますか。

**町長** 只見線沿線に住んでいる方の生活路線として考えると、只見線を利用する方は、只見線を利用する方、把握していますか。

令和5年10月26日

**町長** 只見線沿線に住んでいる方の生活路線として考えると、只見線を利用する方は、只見線を利用する方、把握していますか。

**町長** 只見線沿線に住んでいる方の生活路線として考えると、只見線を利用する方は、只見線を利用する方、把握していますか。

**町長** 只見線沿線に住んでいる方の生活路線として考えると、只見線を利用する方は、只見線を利用する方、把握していますか。

**町長** 只見線沿線に住んでいる方の生活路線として考えると、只見線を利用する方は、只見線を利用する方、把握していますか。

令和5年10月26日





急峻、狭隘な県道布沢横田線(山入地内)  
局部改良、雪崩柵等の工事は進んでいます

## 奥高伸議員の 一般質問



# 県道布沢横田線の改良促進を

## 強く要望していくー町長

**問** 現在この道路の改良対象区間の実延長12・5

化を進めて欲しい。町の考えは。

**答** 町長 町でも重要な路線である認識しております。国道252号が各地で寸断された「平成23年新潟福島豪雨」の際

昭和・三島県道改修促進期成同盟会」を通じ、近隣町村と共に、福島県に強く要望しており、「会津総合開発協議会」「会津方部商工観光団体協議会」等、各方面からも要

望活動を続けています。県ではその実現までの間の安全確保のために、部分的な改良工事を施工しているものと認識しています。今後も、トンネル化に向けて、福島県へ強く要望して参ります。

km、内改良済み約3・4km、わずかに27%にすぎない。現在進められている道路の拡幅工事等の改良工事ではいつまで経っても安全で安心して通行通行できる道路にはならない。道路改良の進まない大きな要因は松坂峠地内の急峻、狭隘な地形にある。地域住民が希望している「松坂峠のトンネル

## 森林整備で産業振興と町の活性化を

## 森林環境税等で森林整備に取り組みー町長

**問** 我が町の総面積の約92%を森林が占めている。森林には資源としての木材のほか土砂災害の防止

**答** 町長 令和6年度からスタートする「森林環境税」は、森林環境譲与税として令和元年度からの4年間で総額1,827万円が交付されました。町では令和3年度から2年間、登記や所有者情報等の事前調査、所有者に対する森林整備の意向調査等の財源として整備を順次進めております。また、福島県からの森林環境交付金を財源とした森林整備にも取り組み、令和2年度から令和4年度まで16ha余りの間伐を実

施し、今年度も準備を進めております。今後このような財源を活用し、引き続き森林整備に取り組む考えです。

※森林環境税とは、令和6年度から国内に住所のある個人に対し課税される国税で、市町村において個人住民税均等割と併せ一人年額千円が徴収されます。

水源の涵養、環境の保全等公益的な多くの役割もある。地球の温暖化など環境問題が深刻化する今、森林の整備、活用、保全の重要性が非常に高まっている。しかし所有者の高齢化の進む我が町では豊かな森林資源があるのに、その活用ができない現実がある。森林の有効活用には町の対応が必要と考えるが。

なお、奥会津五町村活性化協議会が、広葉樹を活かした素材生産、市場への流通について広域的な取り組みの調査・検討をしており、令和6年度には、会津坂下町内に「会津こもれびバイオマス発電所」の開所が予定されており、木質チップの需要の増大が期待されるなど、町としても

奥議員からは、この他に「地域防災力の強化を」の質問がありました。

# 4年間の議員活動を振り返る

「開かれた議会」「身近な議会」を目指しており、皆さまにお知らせします。

現議員の任期満了前最後の定例会が終了しました。4年間の任期中の一般質問登壇実績は次のとおりです。(議員任期 令和元年12月22日～令和5年12月21日)

**一般質問とは**・・・議員が執行機関（町、教育委員会など）に対し、一般事務全般にわたっての執行状況や将来の方針などについて、執行者に直接質すことをいい、質問の範囲は、町の行財政全般のほか、地域の住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

| 定例会開催月          | 安藤<br>雅朗 | 坂内<br>譲 | 加藤<br>夕子 | 栗城<br>康太郎 | 横田<br>正敏 | 奥<br>高伸 | 黒川<br>廣志 | 五ノ井<br>義一 |
|-----------------|----------|---------|----------|-----------|----------|---------|----------|-----------|
| 令和元年12月定例会(初議会) | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ×       | ○        | 議<br>長    |
| 令和2年 3月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和2年 6月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和2年 9月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和2年12月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和3年 3月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和3年 6月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ×        | ○       | ○        |           |
| 令和3年 9月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和3年12月定例会      | ○        | ○       | ×        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和4年 3月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和4年 6月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和4年 9月定例会      | ○        | ×       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和4年12月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和5年 3月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和5年 6月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |
| 令和5年 9月定例会      | ○        | ○       | ○        | ○         | ○        | ○       | ○        |           |

## 一般質問内容について (質問事項の多いものを挙げました)

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・JR只見線の利活用について
- ・観光資源活用による交流人口拡大について
- ・人口減少、少子化対策について
- ・健康長寿、高齢者対策について
- ・産業振興(農林業)について
- ・教育環境の整備等について
- ・只見川流域安全対策について 等々



## 議会事務局の“目”

地方議会では、一般質問の登壇議員が少ないという状況にある中で、金山町議会ではほぼ全議員が定例会の際、一般質問を行い執行機関と活発な議論を展開してきました。

## ■初議会



初登庁の新人議員(R元.12.23)



町長の提案理由説明



初議会の傍聴者



新人議員一般質問



議長 五ノ井義一(左)  
副議長 黒川 廣志(右)

## ■管内視察 (意見交換会や現地視察)



商工会役員



地域おこし協力隊



カスミソウ栽培農家



通称：金福

## ■管外視察 (景観を活かした町づくり、特定地域づくり事業協同組合、小学校統合など)



山形県金山町



秋田県東成瀬村



山形県舟形町



山形県戸沢村

## ■中央(東京)要望等 (県選出国會議員などへの要望活動)



菅家一郎衆議院議員



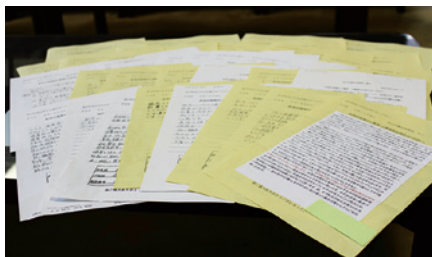
小熊慎司衆議院議員



台北駐日経済文化代表處訪問

# 4年間の任期中に議会として活動した主なもの

## 新型コロナウイルス感染症対策要望書提出



議会では、感染症対策について町民の皆様から頂いたご意見・ご要望(写真上)を取りまとめ、町長に3回要望書を提出しました。(令和2年5月29日、令和3年3月26日(写真下)、10月7日の3回)

要望内容は次のとおり

- 感染防止対策について
- 医療体制の強化について
- 町民への支援策について
- 町内経済対策について
- 町内生産者対策について
- 移住定住者対策について

などの要望を行い、ほとんどの要望内容を取り組んでいただきました。

要望内容で今後実施予定は、・Wi-Fiの環境整備・子どもの遊び場の整備があります。(議会だより令和2年6月11日臨時号、213号、215号に掲載されています。)

## 奥会津かねやま福業協同組合(通称：金福)の設立



総務省支援「特定地域づくり事業協同組合制度」を活用した当組合の設立に議会として強く携わりました。令和2年6月定例会での一般質問「町でチャレンジしませんか」がきっかけで、議員有志で総務省担当者(写真上)へ事業に向けての勉強会に行き、町側への早期取り組みの要望をしました。令和2年10月に町議会主催の勉強会(写真下)を実施しその後、令和3年5月に組合設立がなされ現在に至っています。(令和5年10月現在、13名雇用、現在町内事業所に7名派遣。退職者6名の内4名が町内事業所に就職、1名が起業しています。町外移住者は8名で定住につながっています。)

\*「特定地域づくり事業協同組合制度」とは、地域人口の急減に直面している地域において地域産業の担い手を確保するための事業で国、自治体が財政的、制度的支援を行っています。雇用者は地域内の若者や地方への移住を希望する都市部在住の若者などを予定しており、「地域おこし協力隊制度」と共に移住者を呼び込み定住に結び付ける大切な取り組みです。(議会だより第210号、令和2年12月3日臨時号に掲載されています。)

## 町内の小学校統合について

学校統合については平成18年の「金山町教育施設適正配置等委員会」の答申により、平成21年に、当時の横田中学校と金山第一中学校を統合し、金山中学校を開校しました。

その後、小学校の統合については現在まで行われていないところです。議会では令和4年7月に山形県の舟形町、戸沢村へ行政視察を行い小学校統合、義務教育学校への取り組みについて研修してきました。同年12月定例会の一般質問で3名の議員から学校統合への町の考えを質しました。結論としては令和7年度を目標に小学校の統合を進めることになりました。(議会だより第218号、第219号、第220号、第222号に掲載されています。)



## 窓 雑 感

令和2年12月定例会の一般会計補正予算で「特定地域づくり事業協同組合」設立準備補助金が可決されました。当町のように、人口急減地域の担い手不足を移住者等により人材を確保し、職員として通年雇用した上で地域の担い手確保の取り組みを推進する事業です。令和2年6月定例会の一般質問がきっかけとなり、議会閉会后、間を置かず議員数名で本事業の窓口である総務省に出向き、事業内容の説明を受け、金山町のための事業であることを確信し、町当局に早期の制度活用に向けた要望をして参りました。

県内一高齢化率が高い当町では、集落の活力の低下、人口減少による産業の衰退等への対策が喫緊の課題です。若者定住対策については、町ではあらゆる施策を進めてきましたが、若者流出に歯止めがかかっていません。これからは金山町と多様に関わる人たちと、都市部の若者を呼び込み、移住から定住へと繋げ、地域の担い手になってもらいたいと願うばかりです。

議員8名で取り組んで来た、新型コロナウイルス感染症問題では、議会だより臨時号等を通して、議会からの町への要望を町民の皆様にお知らせしてきました。町民の皆様からのご意見・ご要望をまとめ、令和2年5月に最初の要望書を提出しました。3回の要望書提出となりましたが、町当局にも内容を理解していただき実現可能なものから取り組んで頂きました。また、本年6月23日に電気料金高騰対策の実施を求める要望に対しては臨時会での対応と、町当局の向きの姿勢に感謝いたします。

私達の任期も12月までです。議員8名で力を結集し全力で邁進して参りました。町民の皆様からのご指導に感謝申し上げます。

(議会議長 五ノ井義一)

## 大岐調整池安全対策事業管内視察

8月28日、山入地内の大岐調整池の安全対策盛土事業の現場を議員全員で視察しました。平成26年から毎年約4.5万㎡の土砂を大岐調整池安全対策事業としてダム下流・調整池内へ盛土しています。併せて排水設備等の整備も行っています。現在の進捗状況、安全対策について電源開発(株)東日本支店の担当者より説明を受けました。盛土整備終了時期は令和9年を目途として進めているとのことでした。



事業の説明を受ける町議会議員

## ごあんない

次回の定例会は、12月22日ごろ開会の予定です。  
議会議員選挙後の初めての議会です。

一般質問は12月25日ごろからとなります。

「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り  
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕

議長 五ノ井義一

〔編集委員〕

委員長 黒川 廣志

副委員長 安藤 雅朗

委員 坂内 夕子

委員 加藤 夕子

次回、金山町議会だより

第224号は、2月上旬ごろ発行の予定です。